

こうとう民報

2016年10月号 143

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 とうとう民報編集委員会
 責任者 猪又 武夫
 住所 江東区東陽2-3-5-203
 電話3648-5155 FAX3648-5137
 ホームページ
 ht tp://www.koto-minpo.jp/



都議会・第3回定例会終わる

都議会報告 保育所・待機児問題

9月28日から10月13日の都議会定例会では、都政を揺るがす「豊洲新市場問題」が大きな焦点となり、日本共産党都議団は「環状線東京ガス跡地の問題点を指摘し、築地の現在地の再整備を主張してきましたが、都議会は共産党都議団提案の「百条委員会」を否決し特別委員会で休会中も審議することになりました。この報告では、多くの重要課題の中の一つ、保育所問題についてお聞きしました。

江東区でも深刻な保育所の待機児問題。日本共産党都議団は、保護者、保育士、保育所経営者などの声を聞かせてもらい、現時点で何が大事かをまとめた「保育の量と質を拡充する提言」を、9月8日に小池知事に提出しました。9月28日からの都議会では、都から補正予算と「待機児解消に向けた緊急対策」が出されました。補正予算には、私たちが提案してきた保育士の宿舎借り上げ支援対象の拡大、認可保育所の整備費補助の拡充、借地料補助の拡充など重要な内容が含まれており、私たちは賛成しました。そして本会議、厚生委員会

でも認可保育所を中心に増設が大事であることを具体的に指摘しました。さらに、この10年で倍加し1761施設ある認可保育施設の指導監査は、事前通告なしの抜き打ち調査も含め実効性のある指導監査に取り組みべきと本会議で質問し、都から抜き打ち調査も含め充実・強化すると答弁が出たことも重要です。「規制緩和」による面積基準や人員配置、保育環境の規制緩和は、子ども達の命の安全と健やかな成長を確保し、保育の質を守り向上させるうえで逆行です。引き続き、保育の質と量の拡充を強く求めていきます。



自衛隊が国連平和維持（PKO）活動として派遣されているアフリカの南スーダンには、事実上の内戦状態にあり、PKO派遣の根拠が崩れていきます。安倍政権は新たな派遣部隊に「駆けつけ警護」などを検討しています。これは、他国のPKO派遣部隊を助けるために、武器をもって駆けつけ

議会の本会議質問でこの問題を改めて取り上げ、災害救助など国民の命を守るために働いてきた自衛隊員を「殺し殺される」場所に送るな、速や

【第3回定例会】9条改憲、区長は容認派？

「撤退を求める考えはない」と。区長は「政府に撤退を求め

かな撤退を国に求めよとただしました。さらに安倍改憲の狙いが、9条にあることを示し、これは変えてはならない条項だとして区長の姿勢をただし

る考えはない」と派兵を容認。憲法についても「平和主義など基本原理の継承は欠かせない」とする一方で、9条改正については「改憲の議論もあり、今後の議論の深まりを注視する」とあいまいな答弁を繰り返しました。安倍政権が改憲に前のめりのもとでの区長答弁は軽視できません。

侵略戦争の反省の上に、帝国議会で度重なる審議で平和原則・主権在民が明記され歴史的先駆的な憲法になったことを強調しました。

砂町の会

「戦争法の廃止を求める砂町の会」は、9月18日に「発足1周年のつどい」、10月16日に「憲法学習会」第2期3回シリーズをスタートしました。

「憲法学習会」第1回は、山田敬男氏（労働者教育協会理事）が「日本国憲法は『押しつけ憲法』か」を講演。改憲勢力はGHQから「押しつけられた」と主張しますが、ポツダム宣言の民主的内容を持つ憲法草案をつくることとが事の核心で、憲法研究会（高野岩三郎、鈴木安蔵ら良心的知識人）などが作成した憲法草案が、GHQに大きな影響を与えたことを紹介しました。

「亡国のTPP」推進に執念を燃やしています。16日午後9時、新潟県知事選で米山氏当選の報道に思わず快哉。福島第一原発を視察した山添参院議員は、「目に見えない放射線の恐怖」を語っていました。市民と野党の共闘の勝利は、鹿児島に続いて「原発ゼロ」への大きな一歩となりました。70年代、日本共産党が一貫して追求した革新統一は、国政では1日共闘にとどまったが、地方政治にひろがり、75年には205の革新自治体（総人口の42.7%）が誕生し、国政に大きな影響を与えました。現在は逆に、国政での市民連合と野党共闘の枠組みが地方に波及し、より強固な統一戦線への展望が拓かれていくでしょう。解散風が吹くなかで、23日の衆院補選の結果も注目されることです。

効率より安全こそ第一



国交省が2020年度から羽田の国際線増便を計画しています。10月10日、江東区文化センターで、「江東区上空の飛行計画撤回を求める会」が、航空評論家の秀島一生氏を講師に「学習会」を開催し、87人が参加しました。国交省の計画では、羽田での北風運用時に、朝7時～11時半と15時～19時に、1時間あたり22～23機が江東区上空を低空で上昇していきます。区内の広範囲に騒音被害が発生し、落下物や事故の危険もあります。JAL国際線チーフパーサーを30年間乗務した秀島氏は、やることもやらずに羽田増便

しかないという国交省の計画を批判しました。また「人口密集地の上空500mの低空を、2分に1回も飛ばれたら、住民はたまったものではない」と60～80デシベル（幹線道路脇くらいの音）になる騒音問題や落下物の危険性、飛行トラブル、大気汚染など、安全と環境面での実例を示し、経済効率よりも安全を優先することが最も重要と指摘しました。今後、首都圏住民に、広く問題を知らせること、議会では超党派で最大の力を発揮して欲しいと述べました。共産党、生活系、無所属区議が、連帯の挨拶をしました。

体育の日を過ぎると、ようやく衣更（が）えをする涼秋の候となりました。産業革命以来の気温上昇を1.5度に抑えるパリ協定が11月4日発効。7日にはCOP22開催の予定ですが、世界第5位のCO2排出国の日本は国会での批准が遅れ、参加が危ぶまれます。9月の国連総会では、北朝鮮制裁についての議論を先導すると大見得を切った安倍首相ですが、地球環境保全という人類の課題は念頭にないらしく、多国籍企業のために「亡国のTPP」推進に執念を燃やしています。16日午後9時、新潟県知事選で米山氏当選の報道に思わず快哉。福島第一原発を視察した山添参院議員は、「目に見えない放射線の恐怖」を語っていました。市民と野党の共闘の勝利は、鹿児島に続いて「原発ゼロ」への大きな一歩となりました。70年代、日本共産党が一貫して追求した革新統一は、国政では1日共闘にとどまったが、地方政治にひろがり、75年には205の革新自治体（総人口の42.7%）が誕生し、国政に大きな影響を与えました。現在は逆に、国政での市民連合と野党共闘の枠組みが地方に波及し、より強固な統一戦線への展望が拓かれていくでしょう。解散風が吹くなかで、23日の衆院補選の結果も注目されることです。

糊塗

体育の日を過ぎると、ようやく衣更（が）えをする涼秋の候となりました。産業革命以来の気温上昇を1.5度に抑えるパリ協定が11月4日発効。7日にはCOP22開催の予定ですが、世界第5位のCO2排出国の日本は国会での批准が遅れ、参加が危ぶまれます。9月の国連総会では、北朝鮮制裁についての議論を先導すると大見得を切った安倍首相ですが、地球環境保全という人類の課題は念頭にないらしく、多国籍企業のために「亡国のTPP」推進に執念を燃やしています。16日午後9時、新潟県知事選で米山氏当選の報道に思わず快哉。福島第一原発を視察した山添参院議員は、「目に見えない放射線の恐怖」を語っていました。市民と野党の共闘の勝利は、鹿児島に続いて「原発ゼロ」への大きな一歩となりました。70年代、日本共産党が一貫して追求した革新統一は、国政では1日共闘にとどまったが、地方政治にひろがり、75年には205の革新自治体（総人口の42.7%）が誕生し、国政に大きな影響を与えました。現在は逆に、国政での市民連合と野党共闘の枠組みが地方に波及し、より強固な統一戦線への展望が拓かれていくでしょう。解散風が吹くなかで、23日の衆院補選の結果も注目されることです。

戦後の耐乏生活



下町の焼跡(横に見えるのが隅田川、右上の橋は新大橋)

概説 江東の歴史 (61)

終戦の時、空襲で焼失した家屋は、深川で4万5千戸、城東2万4千戸、焼けた工場の鉄骨だけが立っている荒涼とした風景でした。

焼工場 年逝く鳥(にお)をただよはす 波郷

都電で奇跡的に残ったのは、柳島から門前仲町までの路線です。6月に永代と洲崎間が復旧、全線が開通したのは1949年2月でした。

人々は焼跡の材木やトタンで、雨漏りのするバラックを建てました。屋根も壁もなく筵(むしろ)を敷いただけで住む人もいました。

食物はほとんどなく、焼跡に菜園をつくり、千葉や埼玉に買い出しにいったり、飢えをしのいでいました。そこに激しいインフレがおそいかります。

戦災をまめかされた学校は、深川で明台、毛利、数矢、城東では浅間だけでした。疎開児童は46年11月までに帰ってきましたが、戦災孤児は182人もおり、三多摩のお寺に分散して保護されました。

(注)「百万の焼けて年逝く小木木川」
小木木川小の校門脇に、2008年2月に波郷の句碑が建てられ、63年ぶりの卒業証書授与式がおこなわれました。

学校は青空教室で始まり、戦前の教科書に墨を塗って使いました。校舎の復旧は、ほとんど地域・PTAの力によるバラック建てでした。

大空襲の翌年、再び春がめくつてくると、数多(あまた)の焼死体が反響(あやま)されていた焦土に、はこべらなどの野草が列年(れねん)になく異常に萌え(もえ)いで、それを焦土とそっくりの色をした雀(すずめ)が、つばんでいます。

義母と義姉2人を空襲で失った石田波郷は、戦後、妻の実家近く妙久寺(北砂2丁目)隣に居をかまえて、多くの「焦土俳句」をつくりました。

はこべらや焦土のいるの雀ども 波郷
この句碑は妙久寺の境内にあります。

結成70周年へ展望切りひらこう!



7月の参議院選挙は、32の一人区で野党共闘が成立し、11選挙区で勝利。安倍首相は「アベノミクス」と野党共闘の批判に終始し、選挙が終われば、憲法審査会で改憲の発議案の検討を始めたと言われ、強権的な姿勢をあらわにしています。

今年度から、目標管理型人事評価制度が導入され、人事制度の見直しを検討され、ますます働きにくくなっています。



選出された新役員のおいさつ

江東区は「行財政改革」の強化で貯まった基金は904億円になる一方で、区民の暮らしは困難な状況となっています。溜め込んだ基金を区民、福祉や地域振興、中小企業支

企業収益の300兆円が内部留保として大企業内に溜め込まれ、「アベノミクス」は貧困と格差を一層拡大しています。人口が50万人を超えた江東区は、大型高層マンションの建設が進み、行政需要も増えています。

職員の仕事が増える一方で、昨年は予算人員要求闘争で人員増をかちとつたが、仕事量に見合う人員が配置されていません。

江東区職労第65回定期大会

10月6日、江東区職員労働組合は第65回定期大会を総合区民センターで開催。来年度結成70周年を迎えるにあたり、当面の情勢と区政についての西野智子委員長挨拶を紹介します。

地域労組「こいつとこいつ」第8回定期大会

全労連地域労働組合こいつとこいつは9月24日、総合区民センターで第8回定期大会を開催しました。

基本方針は、職場・地域から「ひとりぼっちの労働者をなくす」こと。組合員の生活と権利を守る。貧困ノ・格差の解消。働くルール確立。日本国憲法の平和主義、基本的人権を擁護。全国一律最低賃金制の確立。組合員のいる職場では企業内最賃時間額1500円など10項目。

新委員長に新野好男氏、書記長に川村好正氏など役員16名を選出しました。

9月18日、木場公園イベント広場で開かれた東京土建江東支部結成60周年記念行事で6年振りに開かれた「第10回土建まつり」。東京土建本部、区労連、区職労、健康友の会などの友好団体と共に日本共産党からはあぜ上三和子都議、党区議団らが参加しました。

非正規労働者のかけこみ寺としての地域ユニオン比重がますます高まっていることが強調されました。

運動方針では、生活できる最低賃金確立は急務であり増額要求すること、派遣法が改悪され、派遣期間3年直前で雇止めされるケースが増加し、

和太鼓の競演です。会場いっぱい太鼓の音が響きました。実行委員長の開会あいさつに続き、江東支部執行委員長金谷修さんが挨拶。地域の心と心のふれ合いを大切に、地域の要望に応え、支える建設労働者の組合として、これまで包丁研ぎなどの住宅デー、福祉募金の取

東京土建江東支部設立60周年



組み、防災・減災にむけ町の救助隊として「レスキュー江東・のぞみ」を発足、地域との絆を深め、組合員の暮らしを守る運動を取り組んだことなどを紹介しました。

まつりには、各分会の模擬店や健康友の会、区労連、地域の商店など50テナント近い模擬店が出店しました。

11月3日 木・祝 10時	江東区生活と健康を守る会定期大会 (東大島文化センター)
11月8日 金 18時30分	江東第8回なんでも相談会 13時 (北砂公園・砂町文化センター)
11月13日 日 9時30分	子どもの未来を語るつどい (亀戸文化センター)
11月18日 金 18時30分	江東区労連秋の学習のつどい (亀戸文化センター)
11月23日 水・祝 10時	江東区高齢者集会 (総合区民センター)
11月25日 金 18時45分	区民要求実現江東区民集会 (猿江公園)

行事日程



さまざまな障害のある人たちが働く社会福祉法人「ゆめグループ福祉会」は「地域をつなごう」と10月1日、「ゆめまつり」を砂周辺の福祉作業所などで開催。模擬店、主製品販売、陶芸絵付けや革細工の体験、ゲーム、スタンプラリー、バザーなどに加え、郷土豊穡、家内安全を祈願して踊る岩手県の郷土芸能「中野七頭舞」も披露しました。